



TITLE:

編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1975, 21(9): 892-892

ISSUE DATE:

1975-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121873>

RIGHT:

編 集 後 記

☆本誌は、投稿されたものを、そのまま印刷してきました。しかし、統計的処理も分析もしていない〔ナマのデータ〕を、数頁にわたって掲載することは、ちょっと困りものです。今後このような原稿には、編集者より改正を依頼することがあります。よろしくご協力お願いいたします。

☆本号は合併号となりました。いろいろの理由がありますが、遅れを取りもどし、その月々に発行したいと考えたからです。これもご了承ください。

☆1976年も多事多難な年となるとの予想が多いようですが、各位のご自愛とご多幸を祈念いたします。(O.Y.)

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料3,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間15ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあけ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ , %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR など、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
例 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 1955.
2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
例 1) 酒徳治三郎: 臨床泌尿器科学, P. 175, 加藤篤二編, 南江堂, 東京・京都, 1971.
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第21巻 第9号	1975年10月25日 印刷	1975年10月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500 円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
